

美濃焼産業観光振興補助金交付決定額（令和元年度事業）

申請者名及び（事業名）	事業の種別（要綱該当項目）	事業概要	申請金額	審査後の対象申請金額 (a)	得点順位	※得点率(b)	交付額(a)×(b) ※千円未満は切捨
株式会社幸兵衛窯 (幸兵衛窯工場見学事業)	要綱第3条(3)オープンファクトリー整備事業	幸兵衛窯が継承してきた伝統技術と職人が働く様子を直に見ていただき、美濃焼の魅力を知っていただくため、工場見学ができる設備とコンテンツを整備する。 第1期として、のれんの設置、工場内ルート整備、ガイド案内のためのiPadを用いた各工程の動画や説明図の整備、バーチャル工場案内のためのVR作成などを行う。	(施設整備) 366,241 (パンフレット制作等) 286,200	申請金額のとおり	1	100%	(施設整備) 366,000 (パンフレット制作等) 286,000
株式会社千窯 (シェア工房整備事業)	要綱第3条(1)シェア工房整備事業	意匠研究所の研究生等に既存の焼成窯(ガス窯0.4㎡)を貸し出している。しかしながら作陶設備がない状況。 多治見市工房バンクと連携して、工場内の一角を70㎡程に仕切り照明及び作業台を設置しシェア工房用の作陶設備を整備する。	1,639,440	申請金額のとおり	2	100%	1,639,000
有限会社 鈴研陶業 (オープンファクトリー、ワークショップの定期開催のための環境整備事業)	要綱第3条(3)オープンファクトリー整備事業	2017年の「美濃焼こみち」、2018年の「多治見こみち」の体験プログラムで、美濃焼タイルを使ったやきものアクセサリーの生産工程の見学と制作体験を実施。好評を得るとともに美濃焼タイルのPR、観光事業として成り得ることを実感。同様な体験プログラムを定期開催するため、受入施設を整備する。	1,336,062	900,060	2	100%	900,000
株式会社幸兵衛窯 (やきものイベントへ多治見を代表する窯元として出店事業)	要綱第3条(4)見本市等出展事業	当窯は、15年前から「産業」から「観光」へという目標を掲げて取り組んでおり、具体例としては、古陶磁資料館・工芸館・卓男美術館を併せ持つ観光施設を備えるなどして来窯のための整備を進めてきた。 こうした中で、「観光」を主要なテーマの一つに掲げる当窯では、当窯の存在を認知していただくことにより、多治見焼及び多治見市の素晴らしいことを知っていただけるよう積極的な出店を行う。	488,900	申請金額のとおり	4	75%	366,000
杉浦製陶株式会社 (見学者向け工場案内の制作と見学ルートの整備事業)	要綱第3条(3)オープンファクトリー整備事業	国内外へタイルの魅力を発信するためには、多くの方に実際に製品を見て、触れて、体感していただく環境づくりが課題。 当社の強みであるタイルの一貫生産と多品種生産を体感していただき、デザイン性の高い色とりどりの内装用モザイクタイル製品を見学いただく環境を整備する。 また、見学の際にタイルへの理解と興味を深めるため、配付用の案内冊子、案内動画を作成する。	(施設整備※上限) 2,000,000 (パンフレット制作等) 405,000	(施設整備) 1,067,231 (パンフレット制作等) 405,000	5	75%	(施設整備) 800,000 (パンフレット制作等) 303,000
安藤寛泰【壽泉窯】 (第8回全国やきものフェアinみやぎ出展事業)	要綱第3条(4)見本市等出展事業	東北エリアは大きな陶磁器産地もなく美濃焼、結晶釉の器の新規開拓エリアであり、東北方面における、美濃焼や安藤寛泰(壽泉窯)の宣伝及び新たな販路拡大を行う。	194,875	申請金額のとおり	6	75%	146,000
安藤寛泰【壽泉窯】 (第22回全国陶磁器フェアin福岡2020(仮)出展事業)	要綱第3条(3)オープンファクトリー整備事業 工該当	九州地方や中国地方、四国地方からの来場とともに、海外(中国等)からも来場が見込める出展イベント。昨年出展したが、継続して出展することにより、美濃焼のPRとともに販路拡大を行うもの。	179,875	申請金額のとおり	7	75%	134,000
			6,896,593	5,527,822			4,940,000

※得点率：得点の割合(%)【合計点数÷500点(満点)×100】に応じて以下のとおり

得点の割合が75%以上 得点率100%  
得点の割合が60%以上75%未満 得点率75%  
得点の割合が60%未満 得点率0%

補助金の交付額は、得点率を補助申請額に乗じて得た額。

(多治見市美濃焼産業観光振興補助金交付要綱第11条第1項)